

防災よこすか

第70号



写真提供 横須賀写真ライブラリ

「大楠山 春の菜の花」

標高は242メートル、三浦半島の最高峰で、山頂からは360度のパノラマが堪能できます。多くのハイキングコースが整備されていて、三浦半島の自然を満喫しながら気軽に登ることができます。山頂より東側の大楠平では、3月に菜の花が約3万本咲き乱れます。

会長あいさつ



横須賀危険物安全協会

会長 岡 昌 憲

横須賀危険物安全協会会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は協会運営並びに危険物保安活動にご協力、ご尽力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、私儀 昨年末に役員の皆様よりご推挙を賜り、故 渡辺晴夫前会長の後任として会長の大役をお引き受けすることとなりました。微力ではございますが、残りの任期の間、専心努力する所存でございますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当協会は昨年度 50 周年という大きな節目を迎えましたが、半世紀もの間、市内で重大事故は発生していません。これも、諸先輩方及び皆様が「安全第一」の心を不断の努力で継承してきた成果だと確信しています。

この「安全第一」という考え方はアメリカ発祥と言われていています。1900 年初頭、米国全土で多くの労働災害が発生していました。このとき、US スチール社が、「生産第一、品質第二、安全第三」という経営方針を「安全第一、品質第二、生産第三」と抜本的に見直したのです。その結果、生産性や品質は低下することなく、労働災害が激減し、「安全第一」は、やがて全世界に広まっていったと言われていています。

近年、国内では危険物施設が減少し続けていますが、事故は減少していません。むしろ事故発生率は高まっていると言えるでしょう。人的要因による事故が多く、背景に、団塊の世代の大量退職による「技術」の伝承不足が挙げられています。

しかし、私は「安全第一」の伝承不足も事故の大きな一因ではないかと考えます。「生産第一、品質第二、安全第三」とならないよう、「安全」を「第一」に考える高い意識をもった人材育成が、事故防止の最重要課題の一つではないでしょうか。

当協会では、消防局、神奈川県危険物安全協会連合会、各地区協会の皆様とも連携を強め、「安全第一」をモットーに、事故のない、安心なまちづくりに貢献してまいります。これからも、どうか皆様のご支援、ご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご健勝をお祈りするとともに、本年も事故のないおだやかな 1 年であることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

渡辺前会長ご永眠

当協会前会長の 渡辺 晴夫 氏が去る平成 29 年 10 月 26 日（木）にご永眠されました。ここに、つつしんで深く哀悼の意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

12 月 8 日（金）、プラザヨコスカ中央本社斎場において、お別れの会がしめやかに営まれました。関係者ら約 2,500 が献花に訪れ、最期の別れを惜しみました。



【 故 渡辺 前会長のご略歴 】

【安全協会業務従事歴】

- 平成 10 年 5 月～7 月
・横須賀危険物安全協会幹事
- 平成 10 年 7 月～平成 12 年 5 月
・横須賀危険物安全協会副会長
- 平成 12 年 5 月～平成 29 年 10 月
・横須賀危険物安全協会会長
- 平成 12 年 6 月～平成 29 年 10 月
・神奈川県危険物安全協会連合会会長
- 平成 12 年 6 月～平成 18 年 4 月
・全国危険物安全協会監事
- 平成 17 年 5 月～平成 25 年 5 月
・関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長
- 平成 18 年 4 月～平成 29 年 10 月
・全国危険物安全協会理事

【各表彰歴】

- 平成 11 年 1 月
・優良危険物取扱者消防局長表彰
- 平成 12 年 1 月
・優良危険物取扱者市長表彰
- 平成 13 年 3 月
・第 5 回防災まちづくり大賞消防庁長官表彰
- 平成 14 年 5 月
・関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰
- 平成 14 年 9 月
・内閣府防災担当大臣表彰
- 平成 17 年 6 月
・全国危険物安全協会理事長表彰
- 平成 21 年 6 月
・消防長長官表彰

【 当協会での主な功績 】

平成 12 年

救命率の向上を目的として「市民救命士」を各ガソリンスタンドに配置。この取り組みにより、翌年に「第 5 回防災まちづくり大賞」の消防庁長官賞を全国の危険物関係団体として初めて受賞。

平成 23 年

東日本大震災の際、市内の広範囲で燃料不足に陥るといった危機的状況の中、所有する災害対応型のガソリンスタンドやタンクローリーをフル活用。消防車両等の緊急車両をはじめ、水道施設、病院等の自家発電設備へ燃料を供給し、窮地を救う。

平成 25 年

市内の少年院に保護されている少年たちへ危険物取扱者試験の対策テキストを寄贈し、危険物取扱者の資格取得を通じて少年たちの社会復帰を支援。同年度より、地域の防災力の向上を目指し、市内の福祉施設等へ、防災用品を継続して寄贈。

平成30年横須賀市消防出初式

去る1月7日（日）、うみかぜ公園（横須賀市平成町3-23）で行われた「平成30年横須賀市消防出初式」式典において、永年に亘り危険物関係法令を遵守し、危険物施設の安全管理と防火思想の普及に努め、火災予防に尽力された功績により、当協会員から次の方々が表彰されました。

★横須賀市長表彰 優良危険物取扱者・事業所

- ・池内精工株式会社 様
- ・東海交通株式会社 様
- ・株式会社東洋ランドリー
野中 ノブ 様

★横須賀市消防局長表彰 優良危険物取扱事業所

- ・追浜工業株式会社 様



★横須賀危険物安全協会長表彰優良危険物取扱者

- ・日産自動車株式会社 追浜工場
- ・日産自動車株式会社 追浜工場
- ・日産自動車株式会社 総合研究所
- ・東邦化学工業株式会社 追浜工場
- ・株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン
- ・湘南菱油株式会社
- ・株式会社ヤマリア 本社・横須賀工場
- ・京急中央交通株式会社 本社営業所

- 高橋 祐樹 様
- 志賀 秀平 様
- 井上 亮 様
- 後藤 清志 様
- 岩崎 勝敏 様
- 川村 昌也 様
- 山口 仁志 様
- 菅原 繁 様



受賞謝辞

池内精工株式会社

総務部長

丸岡 敬典

平成 30 年 1 月 7 日に実施されました横須賀市消防出初式に於きまして、横須賀市長上地克明様より優良危険物取扱事業所として表彰を受け、感謝と同時に改めて身の引き締まる思いがしております。

これも日頃よりご指導をいただいております横須賀市消防局や南消防署をはじめ、横須賀危険物安全協会、関係諸団体の皆様のお蔭と心より感謝申し上げます。

さて、弊社も横浜市大倉山より久里浜へ全面移転して、早いもので一昨年 30 年を経過いたしました。現在内川に新工場を建設し、熱処理炉の増設を行い間もなく稼働する予定となっております。これに伴い、これまで以上に消防局のご指導をいただきながら、しっかりと危険物施設の維持に心がけていきたいと考えております。

来年創立 80 周年の節目を迎えるにあたり、全社員一丸となって地域社会に貢献できますよう取り組んでいく所存で御座いますので、皆様方の引続きのご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



写真 市長表彰受賞者（向かって右から）

池内精工株式会社

東海交通株式会社

株式会社東洋ランドリー

丸岡 敬典 様

塔尾 豪之 様

深草 奈保子 様

（代理受賞）

記念品配布所を開設

出初式会場のいられあい広場において、当協会の記念品配布所の開設し、風船約 500 個を来場された方々に配布して火災予防を呼びかけました。

ご協力いただいた皆様、ご多忙の中、誠にありがとうございました。



視察研修記

インペリアル株式会社

岩橋 毅

平成 30 年の新春を迎えられ会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて昨年 10 月 18 日に横須賀危険物安全協会主催の視察研修旅行に参加させて頂きました。私は今回初めて参加させて頂き、緊張の中、多くの先輩方や会員企業の方々と一緒にさせて頂きました。

この週は 1 週間雨続きでしたが、この日だけ晴天となり、最高の視察研修日和でした。横須賀中央を 8:30 に出発し、会長や北消防署中丸署長からご挨拶をいただき、参加者 26 名の自己紹介、そして危険物に関する車内研修が行われ、最初の目的地「山梨県立リニア見学センター」に到着致しました。そこでリニアモーターカーの研究の歴史や実際の試験走行の見学をしました。3・4 回リニアモーターカーが自分の目の前を通過しましたが、あっという間で、写真に収めるのも難しいくらいのスピードでした。

その後、山梨名物ほうとうの昼食をいただき、御殿場にある「キリンディスティラリー富士御殿場醸造所」で、独自の製法で作られたピュアモルトウイスキーの工程を見学しました。蒸留直後のウイスキーは無色透明で樽の中で熟成させることによって琥珀色のウイスキーになるという説明があり大変驚きました。

夕食は横浜の中華街で懇親会が開かれ、美味しい料理とお酒を楽しみながら、事務局やご参加の会員の方々と懇親を深め、大変有意義な視察研修旅行となりました。

最後に、この視察研修を企画・実行していただきました協会事務局の皆様方に感謝させて頂きたくと共に、今年も会員各位の安全確保・無事故と横須賀危険物安全協会の益々の発展を祈念致しまして、視察研修記とさせていただきます。



平成 29 年 10 月 18 日 視察研修参加者名簿(敬称略)

事業所名	氏名	事業所名	氏名
横須賀市北消防署長	中丸 浩昭	一般財団法人電力中央研究所 横須賀運営センター	島畑 宣志
湘南菱油株式会社	渡辺 晴夫	総合病院 衣笠病院	二階堂 示範
八巻興業株式会社	八巻 敏博	株式会社京急ファインテック	長谷川 光夫
社会福祉法人阿部睦会 共楽荘	阿部 吉朗	湘南菱油株式会社	田村 翔
株式会社グローバル・ニュークリア・ フュエル・ジャパン	杉本 光春 蓮池 充	インペリアル株式会社	岩橋 毅
横須賀市東部漁業協同組合 横須賀支所	我妻 和也	有限会社小山防災	小山 陽生
株式会社富士オイル	山川 芳晴	(株)京急ショッピングセンター ウイング久里浜SC事務所	山下 昭彦
馬淵物流株式会社	家藤 守雄 後藤 彰	東光商事株式会社	内田 美果
同和化学株式会社	石黒 和之	事務局	田中 晃
株式会社やまびこ 横須賀事業所	大谷 慎一 小山 剛	事務局	佐藤 圭
		事務局	内村 裕貴
		事務局	塚田 洋平

救命講習

平成 29 年 10 月 25 日（水）、横須賀市立勤労福祉会館（ヴェルクよこすか）にて普通救命講習会を開催しました。当講習会は地域貢献事業の一環として今年度から新しく始めた事業であり、心肺蘇生法、AED の使用方法等の習得及び救護能力と救命率の向上を目的としています。

当日は各会員事業所から 24 名が参加され、講師である消防局職員及び消防団員の方々に指導を受けました。講習会終了後には全員に修了証が交付されました。



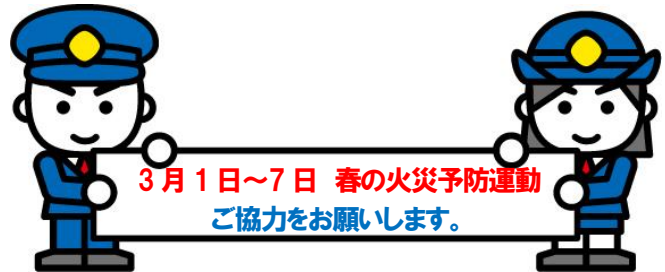
平成 29 年秋季火災予防運動

平成 29 年 11 月 9 日から 15 日まで、全国一斉に「秋の火災予防運動」が実施されました。

火災予防運動におきましては、会員事業所皆様にはポスターの掲示等啓蒙活動にご協力くだしまして感謝申し上げます。

また、期間中には横須賀市内の各駅において、役員の方々にご協力いただき、駅前街頭広報を実施いたしました。婦人防火クラブの方々の参加もあり、駅を利用される方などに住宅火災警報器広報用ティッシュやパンフレット等を配布し、防火広報をすることができました。

ご協力いただいた皆様、ご多忙の中誠にありがとうございました。



協会員だより

神奈川歯科大学附属病院

病院長 小林 優



本学は、「地域に開かれた次世代の歯科大学病院」をコンセプトとして、昨年11月2日に新病院を開設いたしました。床面積は旧病院の約2倍で、ゆとりある空間が特徴となっています。エントランスホールにはジャカラントの巨大レリーフを飾り、心を和ませる空間作りを心掛けました。

また、診療エリアはすべて半個室化を図り、患者さんのプライバシーに配慮するとともに、各室に粉塵防止装置を配備し清潔な空間作りと院内感染防止の徹底を図りました。

また、高齢化が進む横須賀・三浦地域の特性を考慮し、新たな診療部門を開設いたしました。全身管理高齢者歯科では、重篤な全身疾患や障害をお持ちの方への安心・安全な歯科治療を提供するとともに、摂食嚥下機能に問題を抱える方への食支援、通院困難な方への訪問診療を行っています。医科歯科連携センターでは、横浜市立大学との大学間連携を通して、相互関連性の深い口腔と全身の疾患（歯周病と糖尿病、歯周病と肝疾患、口腔癌と食道癌など）を対象に、医師と歯科医師が協同で一人の患者さんの診療に取り組んでいます。また、先進歯科医療センターでは各分野の専門診療科が集結し、う蝕や歯周病など頻度の高い歯科疾患に対して、最新技術を駆使した包括的な歯科診療の提供を目指しています。

さらに、診療以外の施設として災害歯科医療センターを開設致しました。2011年3月11日に発生した東



日本大震災の折には、本学から多数の歯科医師を身元鑑定のために派遣しました。そのときの経験から、大規模災害に備えて患者さんの希望があれば歯科的個人情報情報を保管するシステムを構築して行きたいと思っております。

関東大震災から95年が経ち、再び危険性が増す中で、横須賀・三浦地域唯一の大学病院として、本院の果たすべき役割と責任は大きく、常に万全の備えで皆様の安全確保にお役に立ちたいと思っております。

協会員だより

社会福祉法人 恵徳会
特別養護老人ホーム 恵徳苑
施設長 五十嵐 直子

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

社会福祉法人恵徳会は、昭和54年11月に当時神奈川県会議員だった徳間正雄が創設いたしました。議員活動をとおして、自宅では十分な介護を受けられない高齢者、介護に疲れ病気になる介護者、高齢者介護が支障となり崩壊する家庭など自宅介護の厳しい現実を目の当たりにし、「何とかしなければならない」という思いと、高齢者福祉と地域福祉において社会貢献するという熱い思いを形にすべく、東逸見町に特別養護老人ホームを設立いたしました。今、その福祉への熱い思いを受け継いでいくことが法人の使命だと思います。



開設以来38年間、従来型多床室(4人部屋)、本入所者50名、短期入所者3名で運営をしてまいりましたが、施設の老朽化、狭い居室面積と利用者様への個別ケアが課題となり、平成29年5月10日に日の出町へ増床・移転し、本入居者110名、短期入所者10名のユニット型施設と生まれ変わりました。東逸見での家庭的な雰囲気そのままに、全室個室のユニット型を活かして利用者様への個別ケアを目指してまいります。

開設以来38年間、従来型多床室(4人部屋)、本入所者50名、短期入所者3名で運営をしてまいりましたが、施設の老朽化、狭い居室面積と利用者様への個別ケアが課題となり、平成29年5月10日に日の出町へ増床・移転し、本入居者110名、短期入所者10名のユニット型施設と生まれ変わりました。東逸見での家庭的な雰囲気そのままに、全室個室のユニット型を活かして利用者様への個別ケアを目指してまいります。

特別養護老人ホーム(短期入所生活介護)の他に、東逸見町ではデイサービス、居宅介護支援(ケアマネージャー)、在宅医療クリニック(訪問診療)を実施しております。また公益事業として宅配弁当サービス(愛菜弁当)も行っています。サービスの詳細につきまして、ホームページをご覧ください。



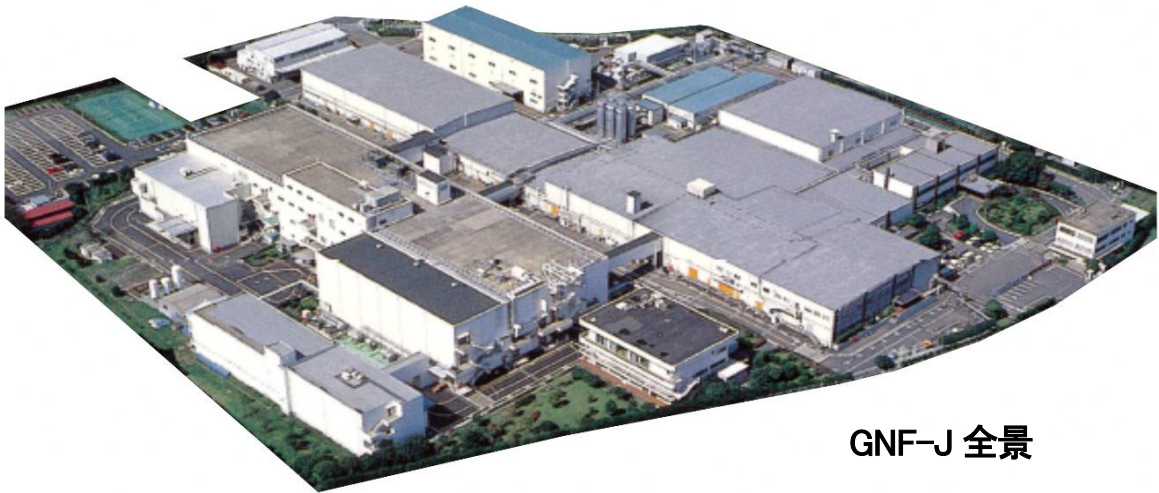
サービスの詳細につきまして、ホームページをご覧ください。

防災については防災委員会を設置し、防災訓練の実施や防災計画の見直しを行っております。今後も入居者様に安心・安全な生活を送っていただく為、横須賀市消防局、各消防署、横須賀危険物安全協会の皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

協会員だより

株式会社グローバル・ニュークリア・
フュエル・ジャパン

取締役社長 中島 潤二郎



GNF-J 全景

会員の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当社は、我が国の原子力発電用の原子燃料の製造を担う会社として1967年に創立し、昨年2017年で創立50周年を迎えました。この間、一貫して沸騰水型原子力発電所の燃料体の製造を続け、累計で8万体を超える実績となっております。この燃料体はおよそ9体で横須賀市の1年分の電力を賄えるエネルギーを持っています。50年もの間、この久里浜の地で操業を継続できたのもひとえに消防局によるご指導、ご鞭撻、それに、地域の皆様のご理解、ご支援の賜物と感謝申し上げます。

2011年3月の福島第一原子力発電所における事故以降、原子力の安全性に関する考え方が全面的に見直され、すべての原子力事業者に対する規制が強化されました（いわゆる新規規制基準が施行されました）。この新規規制基準では、地震・津波・竜巻等の自然災害などへの防護対策がなされている事等、福島事故の反省に立ち、二度と過ちを起こさないための厳しい基準です。当社では、2017年4月にこの新規規制基準に対応した事業許可を取得し、これから設備や建物の補強工事等に関する具体的な設計及び工事の認可を取得し、実施するフェーズとなっております。新規規制基準にも適合させ、安全性を更に高めた上で、原子力を通して社会に貢献できる様努力してまいります。

安全に終わりはありません。品質保証の世界で用いられている「PDCA」を回していき、小さな芽（リスク）を早期に摘むことにより、当社の危険物としてのウラン（放射性物質）の取り扱いに関する安全性向上に努めて参りたいと思います。

最後に、横須賀危険物安全協会の今後のご発展と会員の皆様方のご多幸・ご活躍をお祈り申し上げます。



燃料体

平成 29 年度危険物安全週間推進標語

あなたなら 無事故の着地 決められる

平成 29 年度全国統一防火標語

火の用心 ことばを形に 習慣に

平成 29 年中の横須賀市内における火災・救急出場件数等

(横須賀市消防局 平成 29 年消防活動速報より)

火災件数					
平成 29 年中			平成 28 年中		
順位	原因	件数	順位	原因	件数
1	放火 (放火の疑い含む)	35	1	放火 (放火の疑い含む)	26
2	電気関係	22	2	電気関係	16
3	各種こんろ	14	3	各種こんろ	15
合計 (その他の原因含む)		113	合計 (その他の原因含む)		101

火災による死傷者数		
	H29	H28
死者	5人	8人
負傷者	23人	22人
合計	28人	30人

救急出場件数		
	H29	H28
急病	16,439	15,968
一般負傷	3,943	3,629
交通事故	1,272	1,295
労働災害	114	130
火災	71	62
その他	2,055	1,920
合計	23,894	23,004



**住宅用火災警報器は定期的な作動確認
とお手入れが必要です。**



定期的に作動確認をしましょう。

住宅用火災警報器は電池が切れると作動しなくなります。

汚れていたらお手入れをしましょう。

警報器はホコリなどが付くと誤作動する場合があります。

発行日

平成 30 年 2 月 20 日

発行者

横須賀危険物安全協会

会長 岡 昌憲

〒238-8550

横須賀市小川町 11 番地

電話 046 (821) 6476